

世界戦まで1カ月を切ったある日の昼下がり。高砂市内の商業施設「アスパ高砂」で竹中佳30は靴を売っていた。親子連れに接客し、にこやかに売り場まで案内する。リング上で鋭い視線を送るボクサーの姿はない。勤務は午前8時45分から午後5時まで。高砂ボクシングジムに通い始めてから、練習のある夕方までの仕事を探した。週5回程度「動くこと」が気持ちの切り替えになっているのかも正しにかな。アスパ高砂で世界戦の壮行会も開いてもらった。勤務先の仲間数は試合のたび、応援に来てくれるという。

ボクシングが好きだから 物中選手の20日世界戦



素顔
 に西宮市内から加古川市で「現任は内へ入替らしの居を移 志方町の美家で暮らす。公式戦になると、さらにトが決まり、後戻りでき 家の周辺を約30分 かけてロードワークす なくならない」といふ。勤務後、約3時 思っ、でも温かく見守っ

リング離れ 柔和な笑み

間の練習。この間は、ボに囲まれた。「友人たち クサーの顔つきになる。 は動きながらダンスをし 変貌する。長い髪を編み 込み、華やかな衣装にス カートをはいてリングに 上がる。ただ「衣装など は特に考えて力を入れて るんじゃない」という。 短髪にすることを考えた こともあったが、周囲に 「女子ボクサーの美しさ がなくなる」と止められ た。「スカートも気にな らないから、別にいいか なあ」と笑う。

ボクサー竹中「をつ かったのは周囲の影響が 大きい。武蔵川女大やフ イットネスジム勤務時 代、壮大な夢を持つ友人 柔和な表情でアルバイ トに励む竹中佳選手II 高砂市緑丘2、アスパ

に囲まれた。「友人たち は動きながらダンスをし たり、音楽を職業にする ため、単身でシャマイカ に行ったりしていた。」 竹中の挑戦は珍しいもの ではなく「ボクサー への憧れを話すと『ボクシングって面白いと思 う』と言ってくれる人も いた」

本格的に競技を始めて から、それまで大好きだ った音楽をめぐり聴か なくなかった。かつてはレ ゲエやヒップホップなど を好み、音楽に合わせて 踊るクラブにも通った。 新曲を手チェックし、なる だけ早く音源に触れよう と必死になったというの に、「ボクシングが趣味 みたいになっちゃいまし たからね」

(敬称略)
 (小林隆宏)